

## 議員研修

### クリーンで再生可能なエネルギーの活用を学ぶ

10月17日から18日の日程で全議員が参加して、埼玉県小川町と栃木県那須塩原市で研修を行いました。

小川町では、町民の発案から町・団体・住民の相互協力でバイオマスプラントを設置し、生ゴミクーポン券を発行するなどの実証実験に取り組んでいました。

那須塩原市では、落差のない平野部で農業用水路を活用して発電を行っている那須野ヶ原土地改良区の水力発電所を視察しました。売電収益は組合員に還元し、受益者負担の軽減をはかっています。

当町には森林資源を始め、農業系、畜産系など豊富なバイオマス資源が存在しています。導入コストが高額など様々な課題はありますが、議会においても町民の意見、発案などに耳を傾

けながら、白鷹町エネルギー政策の動向、エネルギープロジェクト事業の進捗よく状況を注視し、地域活性化の取り組みにつなげていきたいものです。



百村第二発電所を視察

## 議会運営委員会研修

### 議会活性化と議会における災害発生時の対応を学ぶ

11月7日から8日までの日程で、議会運営委員6名が参加し、秋田県横手市と東成瀬村での研修を行いました。

この度の研修は、本町議会でも議会基本条例の制定を検討していることや白鷹町議会災害対策本部設置要綱を定めているなかで、先進事例を学ぶということでした。

横手市議会では、災害時に議員が個々に動くことによつて市の対策本部の活動に支障をきたさないよう、議会事務局がパイプ役になることが重要だとされています。

東成瀬村では通年議会を試行しており、議会基本条例制定の可否はこれからということでした。村内の公共施設は耐震化済みで、小学校や保育園の跡地を避難所や防災センターとして利用していました。

町民にわかりやすい議会改革を行うことが「開かれた議会」、「議会活性化」につながり、できるところから取り組みを実施していく重要性を再認識した研修でした。



横手市防災ラジオ